



所長 池間次郎

平成15年4月1日付で所長に就任いたしました池間次郎でございます。当研究所は3部1課8室で企画管理部門をはじめ、衛生部門、環境部門における試験検査や調査研究、研修教育及び公衆衛生情報の解析・提供等を行っております。

その中には沖縄特有のハブ研究室や赤土研究室があり、その特徴ある研究は全国的にも高い評価をいただいております。また国際協力の一環として昭和58年からJICA(国際協力機構)からの海外研修員を受け入れ、分析技術等の研修、指導を行っています。今年はアフリカと東南アジアの4名の方に3ヶ月間研修を実施したところです。

さて、近年SARS(重症急性呼吸器症候群)に代表されるような地球規模の新たな感染症の発生、地球環境の保全など衛生・環境に関するグローバルな問題が顕在化し、国内の社会・経済情勢も劇的な変化を見せています。これら新たな時代のニーズに対応しうる『21世紀の衛生環境研究所』をめざし、研究業務のさらなる効率化、高度化が求められております。本県においても県の試験研究機関に対する外部評価システムが導入され、専門家による研究業務の評価が始まっております。このシステムは既存の研究業務の必要性を客観的に評価し、また新たな研究への提言をいた

だくなど研究所の方向付けに繋がるものと期待しております。

当研究所の使命は、行政と連携を密にし、県民の健康と環境保全を図ることであります。そのために研究成果の還元等、県民に開かれた研究所として所員ともども努力を重ねていく所存でありますので、皆様のご指導をお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

第29回 九州衛生環境技術協議会



第29回九州衛生環境技術協議会が、去る10月9日・10日の2日間にわたり沖縄県那覇市で開催されました。

今回は、九州と沖縄の県や市の13研究機関の研究者120名が集い、衛生と環境の諸問題や分析方法について大気・水質・生物・衛生化学・細菌・ウイルス・情報処理の七つの分科会で議論が深められました。ウイルス分科会では調査研究・事例発表の後、今話題になっているSARSなど、照会や協議事項についての討議が行われ、日頃の調査研究に係る課題点などについて情報交換が行われ

ごあいさつ.....	1	レプトスピラに気をつけよう.....	3
第29回九州衛生環境技術協議会.....	1	7つの健康習慣を身につけよう.....	4
小学校で54匹のサキシマハブを捕獲.....	2	JICA研修『衛生環境分析技術者コース』の修了.....	4
SARS発生時の当研究所の役割.....	3		